

地元高校を存続させる

支援策は



Maeda Hiroyuki 議員

Maeda Hiroyuki 議員 少子化により、高校の統廃合が進められようとしているが、本町経済に与える影響や親の負担を考えると、二校残すために何らかの支援策を講じるべきではないか。

北村町長 隣接町や関係団体と一体となつて、二校それぞれの協議会を設置し、県や関係機関に、両校の存続を強く訴えていきたい。

役場職員に卒業生を

Maeda Hiroyuki 議員 いろいろな問

題はあると思うが、人間性重視で宮之城高校、宮之城農業高校の卒業生を役場職員に採用できないか。



成田にある「県立宮之城農業高校」

町長 学校による配分も

しなければとは考えるが、しつかりとした採用基準がなければいけないと思う。地元の学校が頑張つて、合格する子を送り出してほしい。

成績の公開は

Maeda Hiroyuki 議員 採用職員の試験成績を、名前を伏せて公開できないか。

町長 公表している団体もあるが、今後の研究課題としたい。

クラブ活動の活用は

Maeda Hiroyuki 議員 「知・徳・体」の調和のとれた児童・生徒を育成するために、クラブ活動の活用を考えるべきではないか。

福留教育長 学力とクラブ活動の両立が大事であると思う。部活動の指導者確保についても最大限の努力をしたい。

屋地にある「県立宮之城高校」



卸売市場の 所管課替えを

Maeda Hiroyuki 議員 生産から販売までの連携を考え、祁答院地方卸売市場の所管を、商工観光課から農林課に移管する考えはないか。

町長 青果と魚の部門があることから、いろいろなことを考えながら、検討したい。

税収増対策は

Maeda Hiroyuki 議員 税収を増やすための農林業、商工観光振興策は。

町長 水田農業の構造改革を図り、都市と農村の交流を促進し、地産・地消と連動した施策を推進したい。